

確な検診が実現する。効率化につながる」とがん予防推進や診断の期待している。

請があり、28件が採択された。採択期間は今年度から3年間で、年間約4500万円の補助を受ける。

同社と金大が共同開発した現在の検査法は、がんに関係する遺伝子を載せた「DNAチップ」を使い、患者の血液から抽出した遺伝物質を調べる。同社は検査工程を統合し、検査時間を従来の3日間から約4時間に短縮。6〜10万円の費用を約3分の1に軽減する。

県は「いしかわ産業化資源活用推進ファンド(活性化ファンド)」などで同社の医療機器開発を支援しており、産業政策課は「患者の負担が少なく、より正

4時間で判定

がん新検査法 国が開発支援

金大発ベンチャー

経済産業省は20日、
大発のベンチャー企

業「キュービクス」(金沢市)が取り組むがん検査機器の開発を「課題解決型医療機器等開発事業」に採択した。同社は血液の遺伝子分析で消化器系がんの有無を調べる検査法を改良し、約4時間でがん判定できる新システムの開発を目指す。

全国で140件の申